

伊東海水浴場 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1, 本ガイドラインの主旨

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中で感染症対策が必須の状況であり、海水浴場ならびに海の家を訪れるお客様に安心してご利用いただくために、「伊東海水浴場新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を作成いたしました。

基本的には、『密閉』、『密集』、『密接』のいわゆる3密を避けるような取り組みを行うことを明記し、海水浴場における指針を示しております。

2, 対象とする海水浴場

- (1)宇佐美海水浴場
 - (2)伊東海水浴場(伊東オレンジビーチ)
 - (3)川奈海水浴場
- ※川奈いるか浜公園も含む

3, 対象とする期間

令和3年7月22日(木・祝)から令和3年8月25日(水)まで
※監視員の常駐時間は8時30分から17時00分までとする

4, 行動指針

(1)海水浴場利用者に実施していただく項目(監視員が呼びかける項目)

- ・体調が優れない場合は利用を控える。
 - ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - ・高齢者や基礎疾患がある方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
 - ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合 等
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合は利用を控える。
- ・利用中に体調が悪くなった場合は、すぐに利用を控える。
- ・海水浴場利用者間の距離をできるだけ2m以上取る。
- ・会話をする際は、なるべく距離をあけ、飛沫に十分注意する。
- ・手洗い設備、シャワーを積極的に利用する。
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、飲食前やトイレ利用後等には手洗いを徹底する。
- ・タオル類を他者と共有しない。

- ・使用済みのマスク、鼻水や唾液などが付着したゴミを含め、自らのゴミは持ち帰る。
- ・掲示のQRコードを読み取り、伊東市メールマガジンに登録する。
- ・厚生労働省より発表されている新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)を利用する。
- ・海の家を利用する場合は、伊東海水浴場組合が作成した「伊東海水浴場海の家新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づいた適切な行動をとる。

(2)監視員(ライフセーバー)が行う感染防止対策

- ・海水浴場利用にあたっての注意点を各所に掲示する。
- ・監視業務中、手洗いや手指の消毒をこまめに行う。
- ・使用頻度に応じて監視所の設備や資器材の消毒を行う。
- ・体調管理チェックシートを記入する。
- ・監視所や救護所では十分な換気を行う。
- ・被救護者の情報を記録に残し、疫学調査に協力できる体制を整える。
- ・37.5℃以上の発熱がある場合、代替者が監視業務にあたる。
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、飲食前やトイレ利用後等には手洗い、手指消毒を徹底する。
 - ※監視員自身が感染する等、感染媒体とならぬよう感染予防を徹底する。
 - ※監視救助活動に関しては、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言解除後のライフセーバーの水浴場監視救護活動ガイドライン 2021(公益財団法人日本ライフセービング協会)」に準じる。
 - ※そのほか、伊東市観光課及び伊東観光協会の職員が適宜見回りを実施し、注意喚起を行うものとする。

5, 感染者が発生した場合及び緊急事態宣言が発出された場合の対応

伊東市による対策会議の決定に則して対応を行うものとする。

※本ガイドラインに定めていない事項に関して問題が発生した場合、状況に応じて適切に対応する。